

両石地区復興まちづくり協議会

(両石町内会・両石地区地権者会 説明会)

平成28年4月29日(金)

14：00～16：00

開催場所：釜石情報交流センター 釜石PIT

次 第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の主旨とこれまでの経緯
3. 土地利用計画について
4. 工期延伸について
5. 事業実施スケジュール
6. 防潮堤整備の概要について
7. 意見交換

2. 本日の主旨とこれまでの経緯

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
ます。

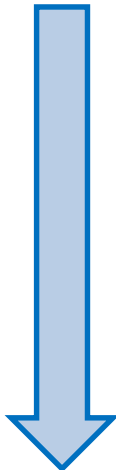
今回のまちづくり協議会で特にご説明いたしたい点は以下のとおりです。

- ①**土地利用計画の変更内容**
- ②**工期延伸に至る経緯と対策**
- ③**事業実施スケジュール**
- ④**防潮堤整備概要**

これまでに両石地区では「復興まちづくり協議会」を3回、「地権者会への現場説明会」を2回開催していますが、これまでの経緯について主だった項目と施工内容についてご説明いたします。

平成25年7月28日（日）10：30～12：30

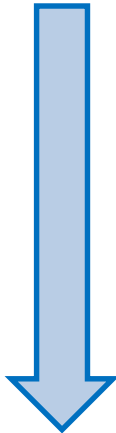
両石地区まちづくり協議会 次第

- 
- 最新の土地利用計画について
 - 今後のスケジュール
 - 災害危険区域の設定について
 - 私的整理ガイドラインについて
 - 住宅再建支援制度について

協議会での意見をふまえた計画の見直し

平成25年11月17日（日）14：00～16：00

両石地区まちづくり協議会 次第

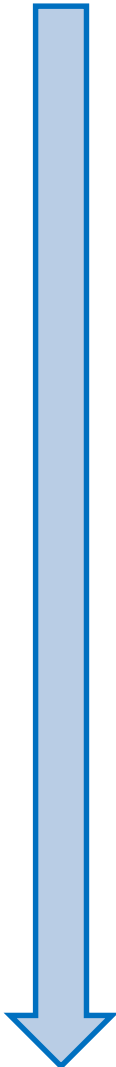
- 
- 前回協議会のふりかえり
 - 最新の土地利用計画
 - 住宅再建意向調査の中間集計結果について

協議会での意見をふまえた計画の見直し

- 平成25年12月15日 北ブロック安全祈願祭
- 平成26年 2月 現地に目印（丁張）を設置

平成26年8月31日（日）13：30～15：00

両石地区まちづくり協議会 次第

- 
- 土地利用計画について
 - 事業実施スケジュール
 - 国道45号整備の概要について
 - 防潮堤整備の概要について

協議会での意見をふまえた計画の見直し

平成27年7月16日（木）町内会・地権者会役員説明会（女遊部集会所）

平成28年2月 3日（水）町内会・地権者会役員説明会（女遊部集会所）

これまでに実施している施工内容

- 両石川ボックスカルバート敷設工事
- 両石桑の浜線切土工事
- JR山田線橋梁撤去工事
- 盛土造成工事
- 国道45号切り替え迂回路[1回目]（平成27年8月）
- 防潮堤整備工事

平成28年3月18日（金）町内会・地権者会役員説明会（女遊部集会所）

平成28年3月28日（月）町内会・地権者会役員説明会（女遊部集会所）

平成28年4月29日（金）14：00～
（ 今 回 ）

3. 土地利用計画について

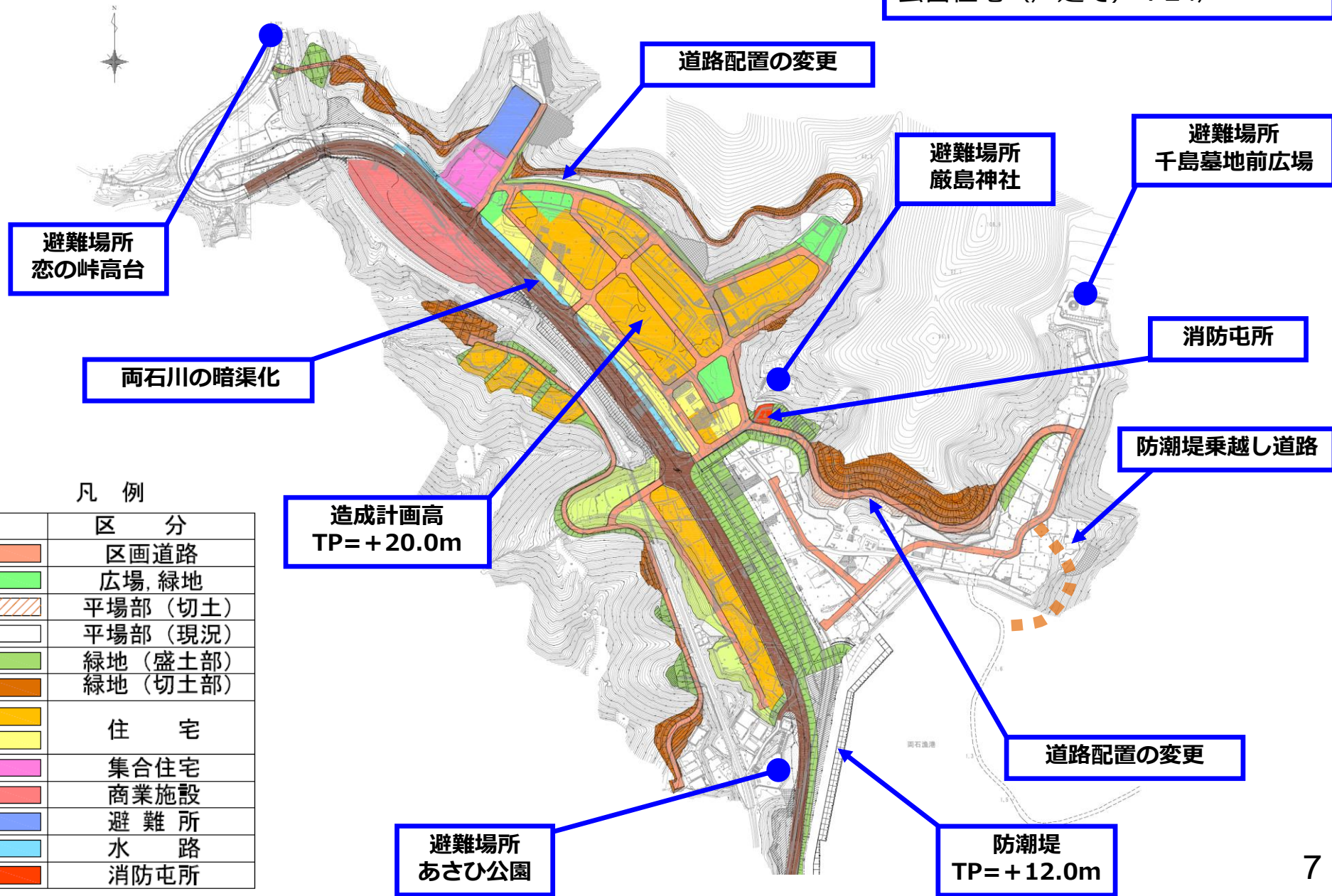
前回のまちづくり協議会で提示させていただいた土地利用計画図ですが、変更点が生じたので最新の土地利用計画図を提示いたします。

主な変更内容は、具体的な商業施設計画が見込まれないことによる計画の見合わせと、詳細設計の進捗により道路線形と法面形状が変更となります。

最新の土地利用計画についてご説明いたします。

前回提示した、土地利用計画図（平成26年8月31日）

住宅戸数
 自力再建 : 71戸
 公営住宅（集合） : 1棟（30戸）
 公営住宅（戸建て） : 24戸



最新の土地利用計画について（案）

具体的な商業施設計画がないため
商業用地計画の見合せ

住宅戸数
自力再建 : 70戸
公営住宅（集合） : 1棟（24戸）
公営住宅（戸建て） : 24戸

詳細設計による
道路線形の変更

両石川の
暗渠化

造成計画高
TP= + 20.0m

防潮堤
乗越し道路

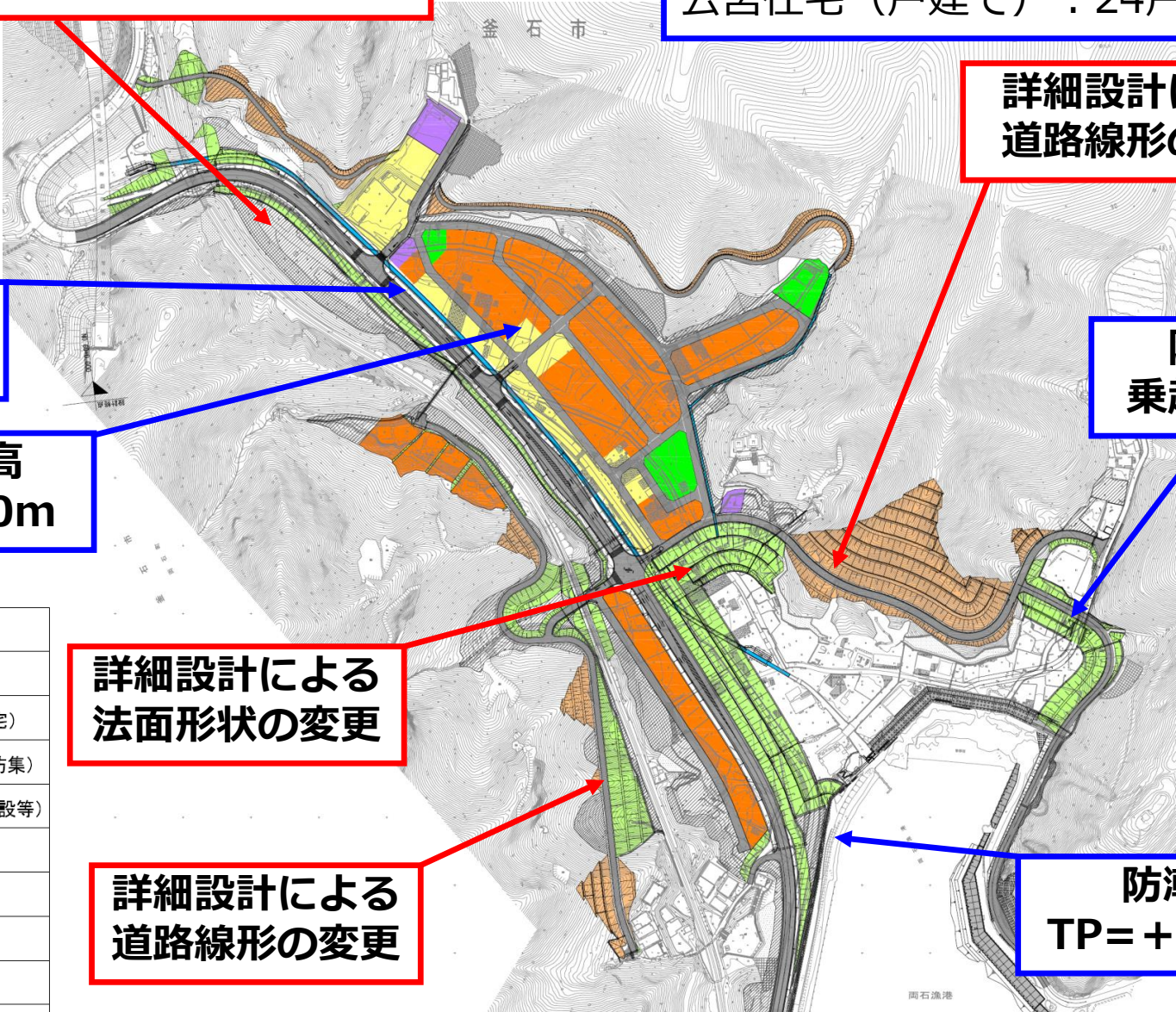
詳細設計による
法面形状の変更

詳細設計による
道路線形の変更

防潮堤
TP= + 12.0m

凡 例

	区 分
	道路
	住宅（公営住宅）
	住宅（自力再建防集）
	その他（公益的施設等）
	広場・公園
	盛土法面
	切土法面
	防潮堤
	河川・水路



※赤枠が変更内容です

4. 工期延伸について

今回、事業の進捗状況等もあり、皆様方には大変申し訳ありませんが、工期延伸の必要が生じました。

工期延伸に至る経緯と遅延理由についての概要説明を模式図を用いてご説明をいたします。

また、工期延伸に伴いまして、前回提示させていただきました「宅地の引渡し時期と範囲」に変更が生じましたので引渡し範囲ごとの遅延理由と延伸時期についてご説明いたします。

工期延伸について

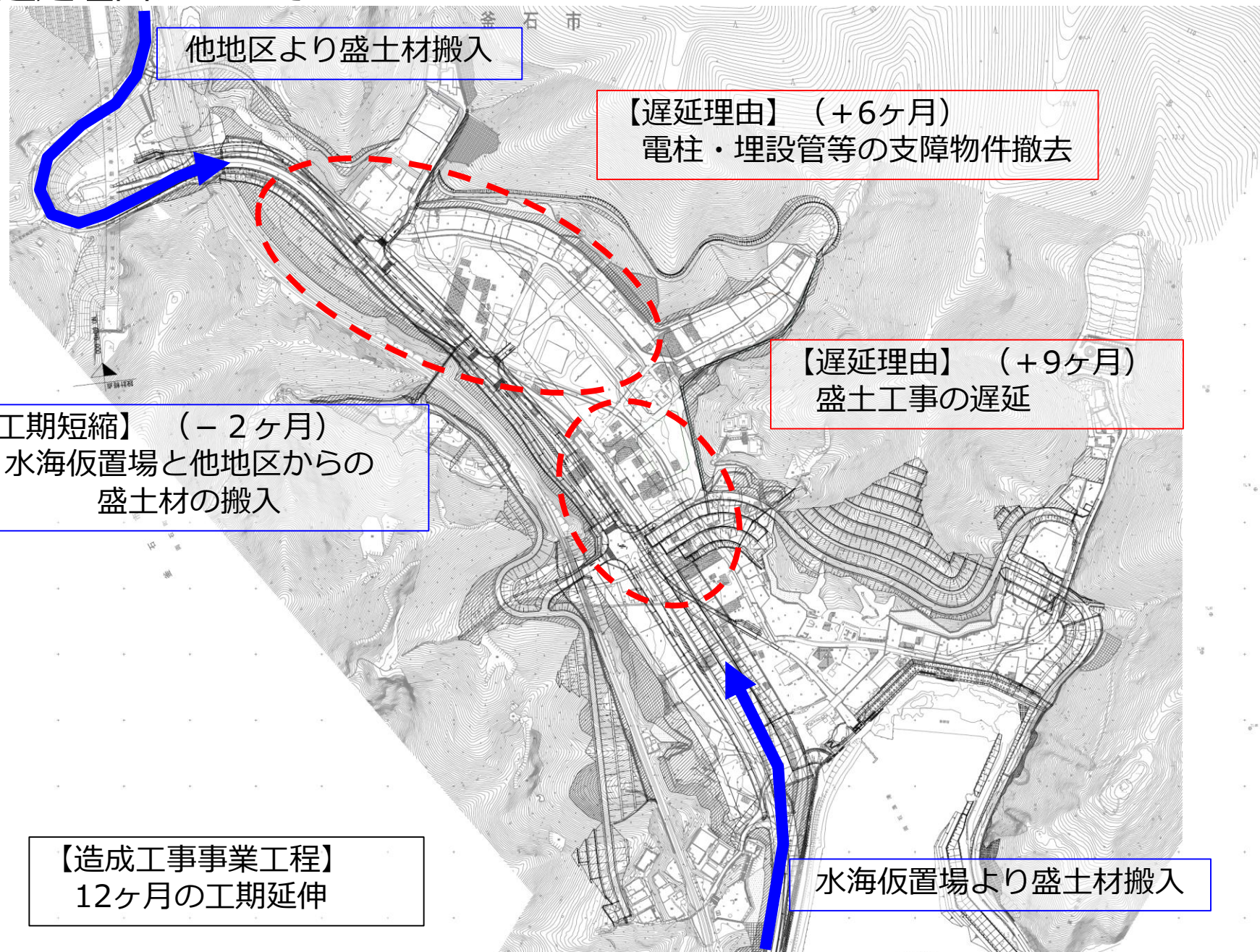
河川構造物や電柱・埋設管等の支障物件移転に時間を要したことに加え、地形が狭隘（きょうあい）であることにより、部分的、かつ段階的な盛土施工を余儀なくされました。この結果、当初予定の盛土進捗率を下回ることとなり、工期の延伸をすることとなりました。

盛土進捗率の遅延状況についてご説明いたします。



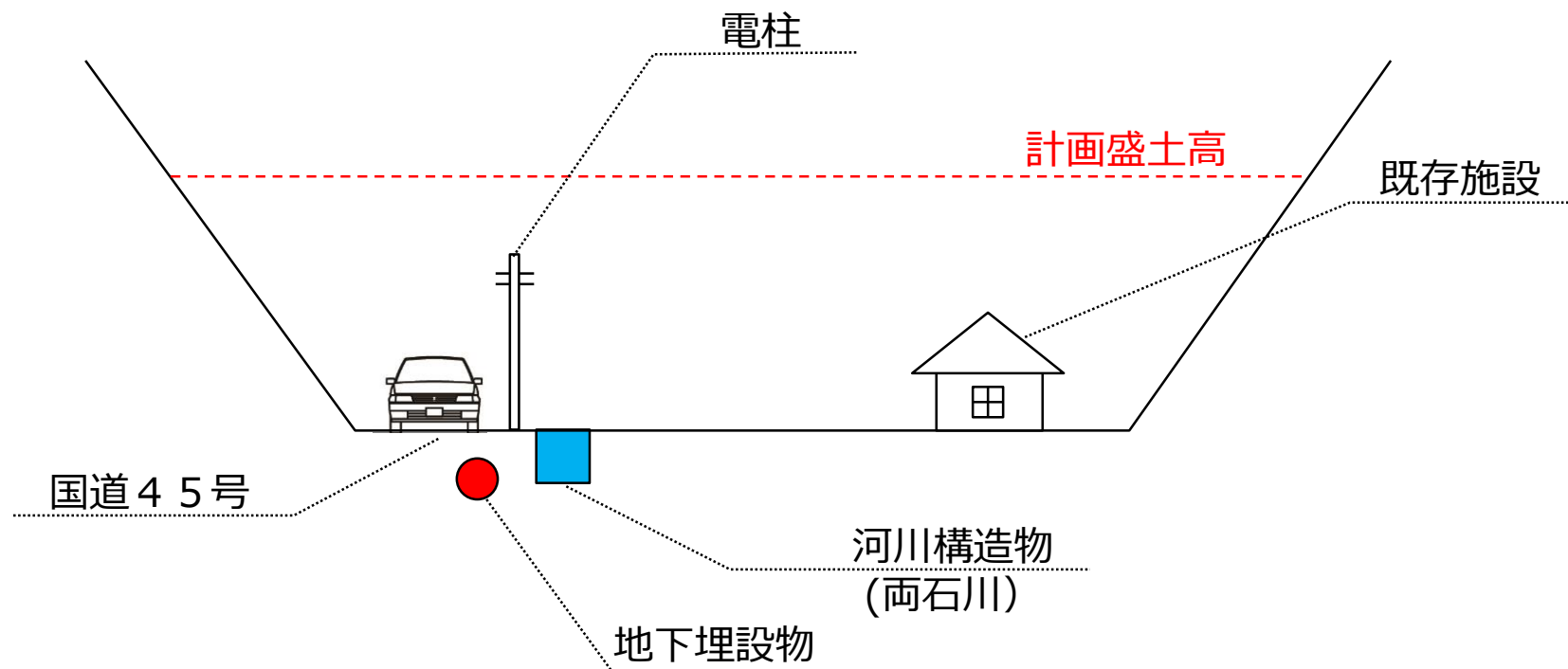
※狭隘（きょうあい）：狭くゆとりが無いこと

遅延理由について



工期延伸について（模式図）

①盛土施工前



施工前の状況図です。

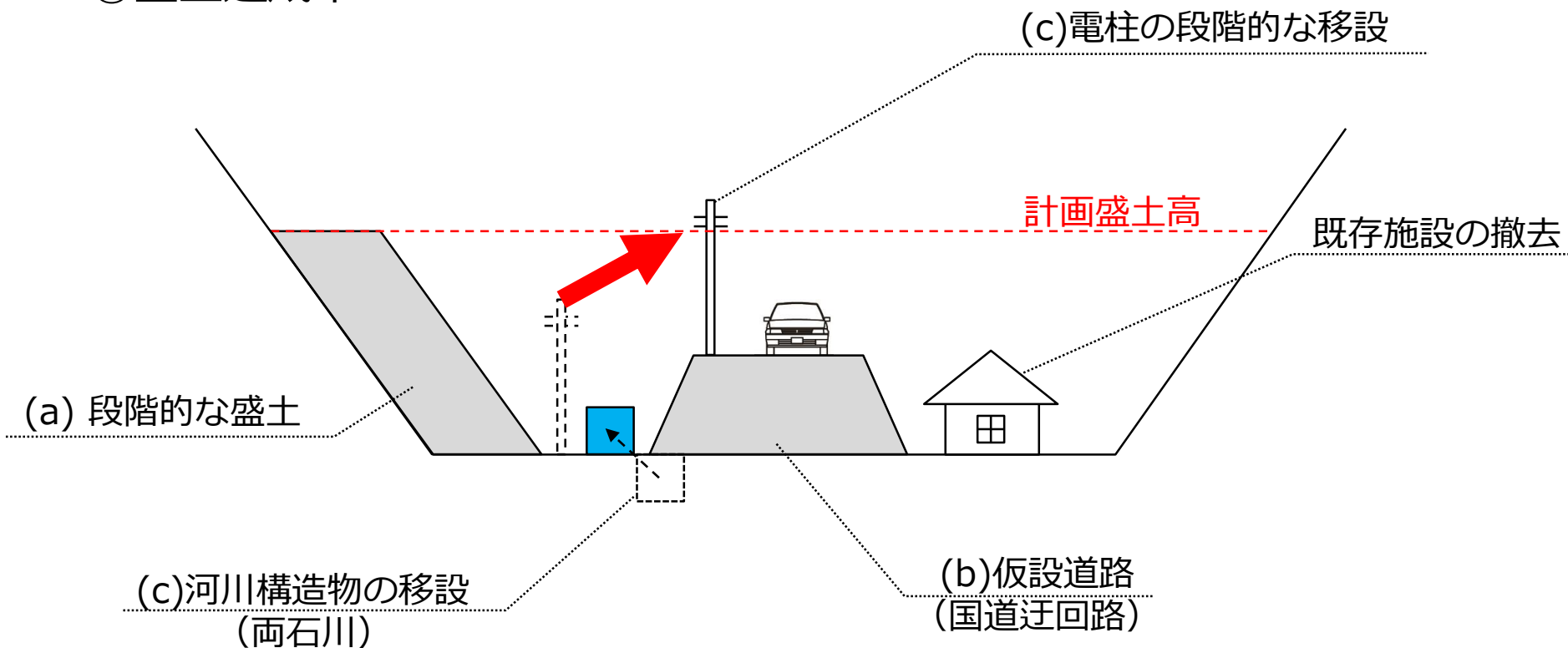
国道45号や両石川に加え、既存施設や地下埋設物等の支障物件は造成工事を進める上で障害となります。

造成工事を進めるためには図に示したような支障物件の移設や撤去が必要となります。

赤色破線は計画盛土高さを示しています。

工期延伸について（模式図）

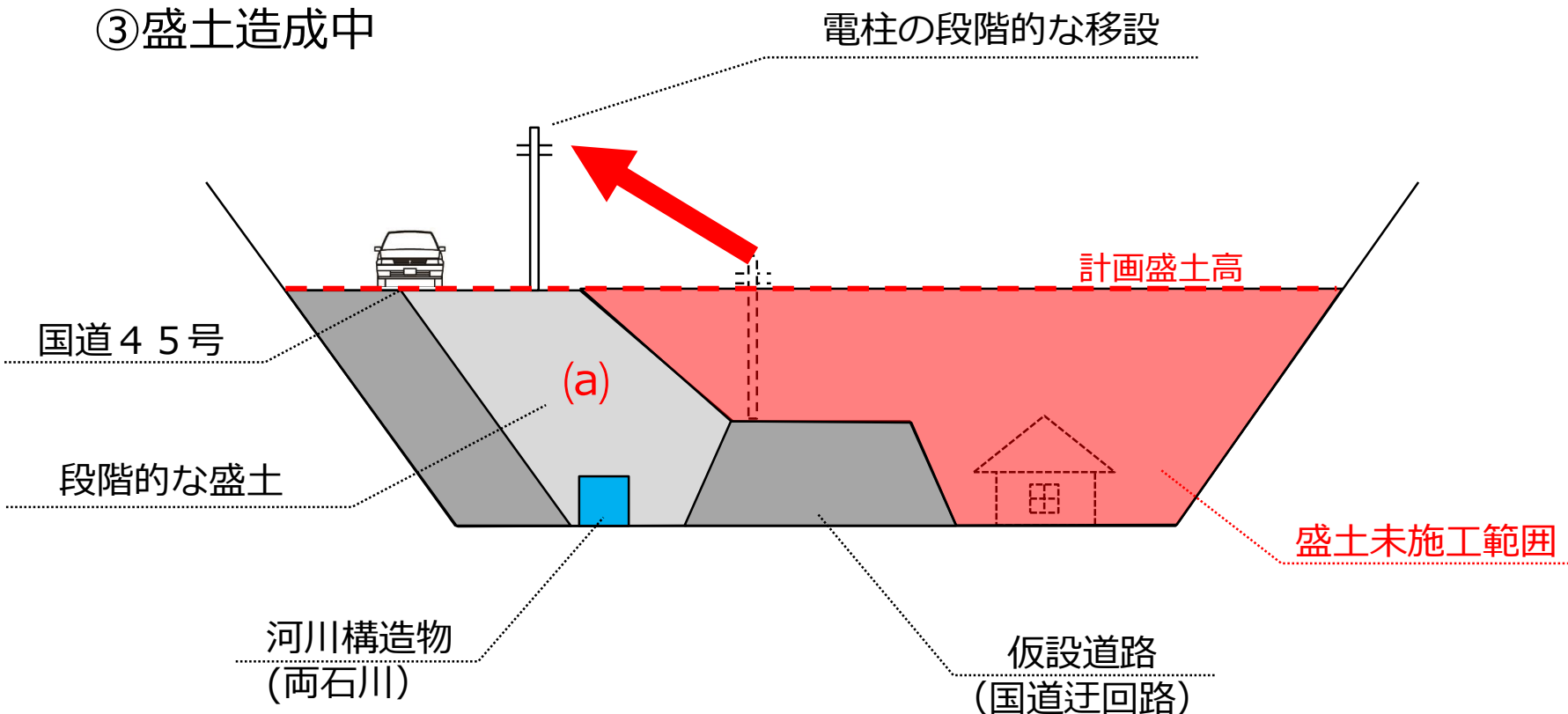
②盛土造成中



(a)部分については支障物件もなく盛土施工が可能部分です。道路については、一般車両の通行を確保しながらの工事となるので、同時進行で(b)仮設道路の整備も実施すると同時に(c)既存施設の段階的な移設も行います。

工期延伸について（模式図）

③盛土造成中



支障物件の段階的な移設が完了することにより、(a)部が盛土施工が可能となります。しかし、両石地区は狭隘な地形の中、複数の支障物件の段階的移設が余儀なくされました。これにより上図の赤い部分について、盛土施工ができない範囲があることで盛土量が減り、当初の盛土進捗予定を下回ることになり、工程に遅れが生じることとなりました。

遅れる理由

- 既存施設・アンテナ・電柱等の移設に時間を要したことが影響。
- 仮設水道管の設置に時間を要したことが影響。
- J Rの橋梁撤去に係る関係機関調整に時間を要した。
- 建設機械の施工範囲が制限されたことで、盛土の進捗に影響。

以下、ブロックごとの状況を説明いたします。

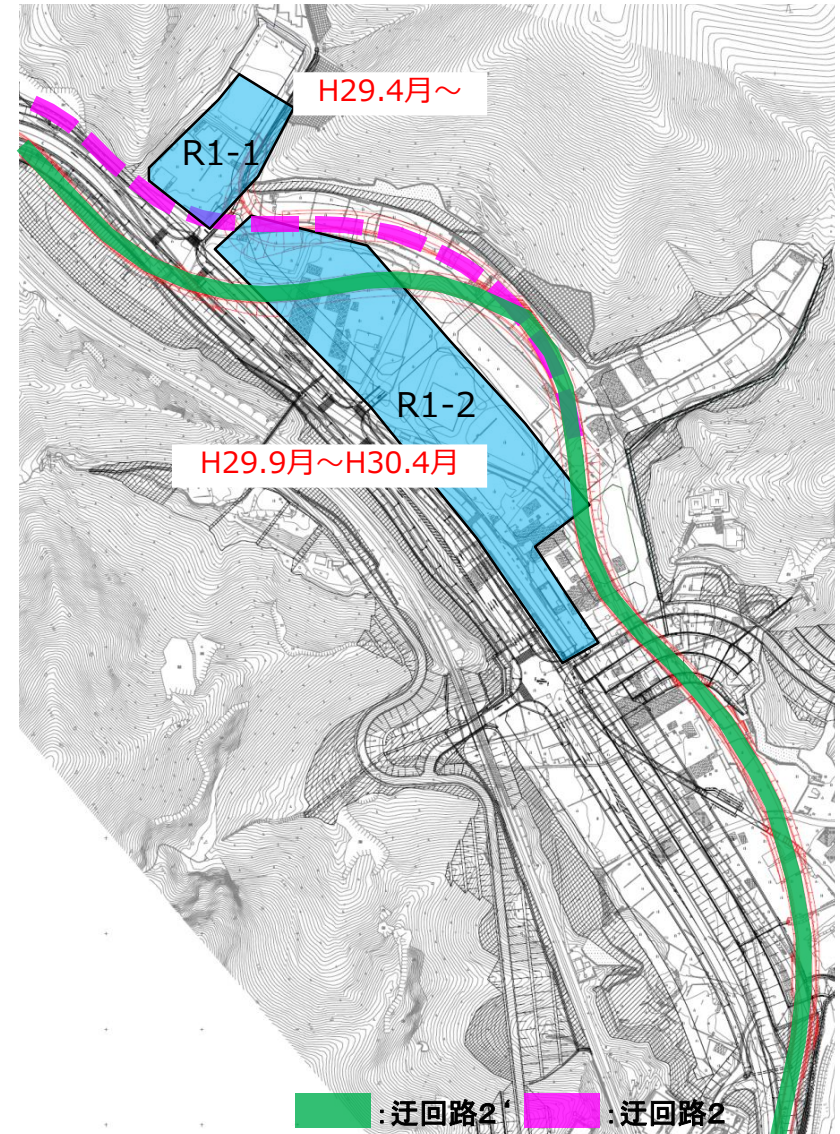
R1ブロックの状況

R1-1ブロックの遅れた理由

- 電柱の移設に伴い、電気通信事業者の複数回の移設に段階的な施工が必要で、それに期間を要したことにより造成工事の工程に遅れが生じました。



R1-1の電柱の状況



R1ブロックの状況

R1-2ブロックが遅れた理由

- 電柱の移設に伴い、電気通信事業者の複数回の移設に段階的な施工が必要で、それに期間を要しました。
- 仮設水道管を切り回すためにJR用地を使用する必要があり、それに伴う近接施工・用地協議に時間を要しました。
- 上記の理由等により、地盤改良工の着手時期にも影響を及ぼすこととなりました。



R1-2の電柱の状況

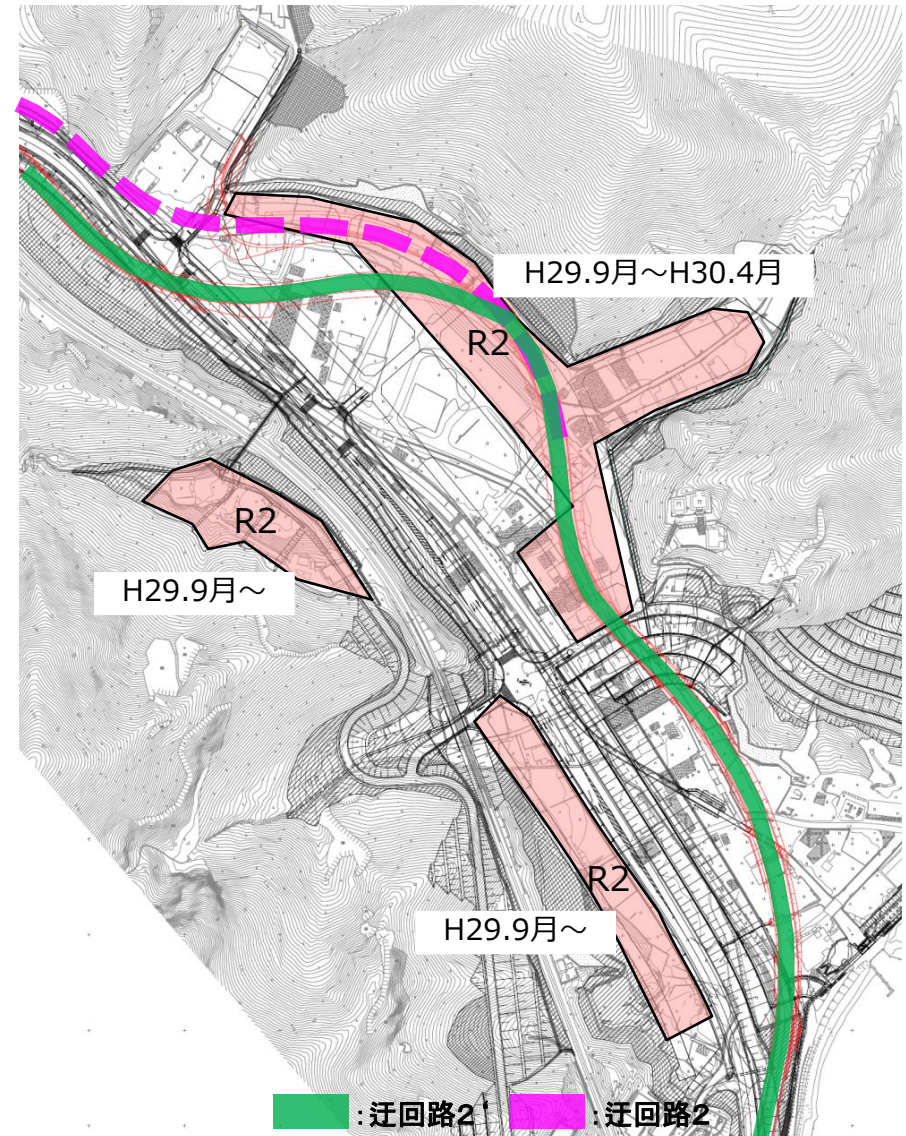
R2ブロックの状況

R2ブロックの遅れた理由

- 既存施設・アンテナ・電柱等の移設に伴い、関係事業者の複数回の移設に段階的な施工が必要で、それに期間を要しました。
- JR桥梁撤去に係る近接施工、用地協議、設計施工協定締結協議等に期間を要したことにより造成工事の工程に遅れが生じました。



造成状況



工期延伸について（対策）

当初工程より約14ヶ月の工期延伸が見込まれますが、水海仮置場からのみの盛土材搬入を、他地区の発生土砂を盛土材として搬入することで、約2ヶ月の工期短縮を図ります。これにより、造成工事は約12ヶ月の工期延伸となり、宅地の引渡し範囲の変更を行いました。引渡し時期は6ヶ月～最大で16ヶ月の延伸となります。



住宅建築着手時期の見直し

H26.8まち協説明内容（グレーの網掛け）と今回見直しの比較

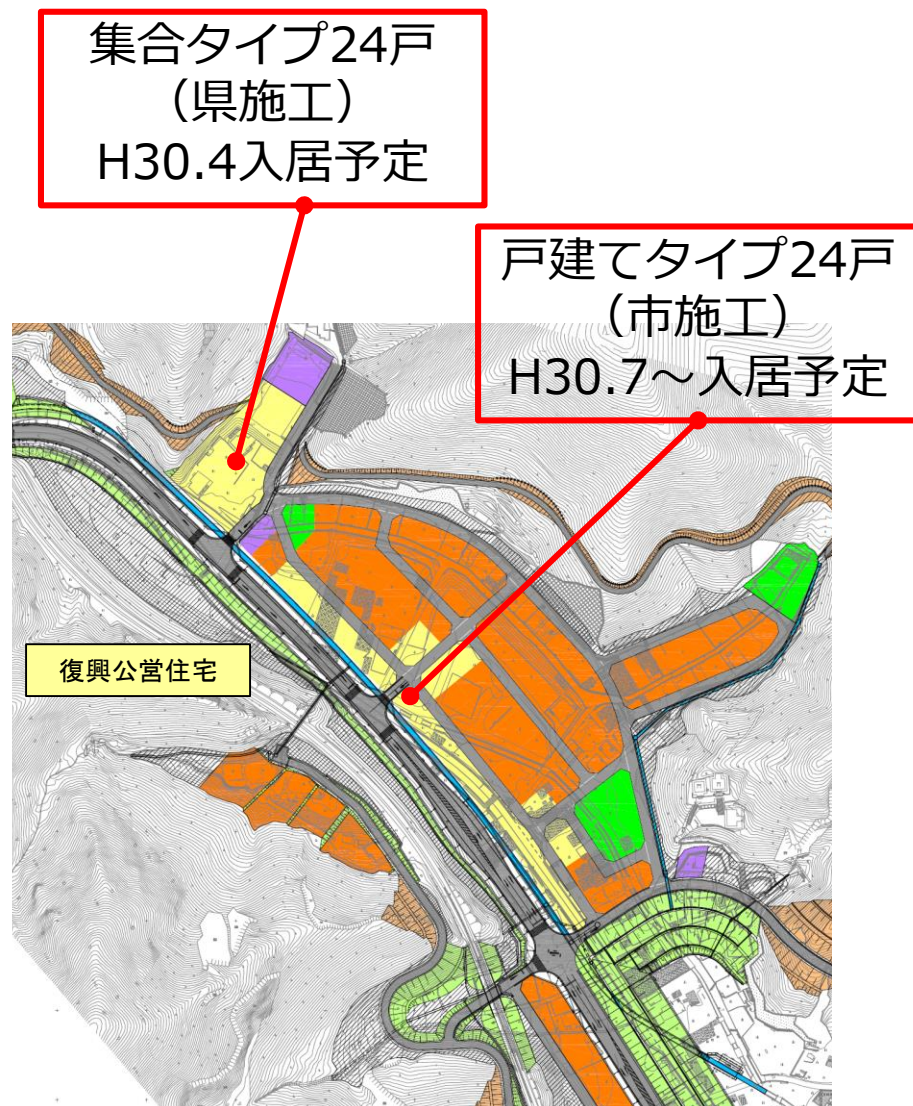
H27		H28		H29			H30				
1	12	1	12	1	6	7	12	1	6	7	12

復興公営住宅について

両石地区の復興公営住宅は集合タイプ24戸（県施工）、戸建タイプ24戸（市施工）を整備予定です。

住宅の完成時期については、平成30年3月から平成31年2月にかけて順次完成の予定です。

市施工の住宅については、完成が近づいてきましたら住宅の内覧会の上、部屋決め抽選会を実施する予定です。



これまでに実施した対策

- 電柱やアンテナ、水道等の支障物件の早期移設に向け、関係事業者、関係機関との調整会議開催による工期短縮案を検討した。
- 迂回路の増設により工事可能区間を創出し、工事の進捗を図った。
- 施工順序の見直しにより、盛土が可能な箇所から施工を進めることで、工程の前倒しを図る。
- 買収が完了していない土地は、地権者より起工承諾を頂き、工事の早期着手を図った。

これから実施する対策

今後は、宅地引渡しが遅れることがないように次の対策を講じて事業の進捗を図ってまいります。

- 盛土の搬入を水海仮置場からだけでなく、他地区の発生土砂も同時に搬入することで、工期の短縮を図ります。
- 日照時間の長い時期の作業時間を延長することで、工期の短縮を図ります。

5. 事業実施スケジュール

事業の実施スケジュールについては、ステップ図を使用してご説明いたします。

※各ステップ図は、現段階のものであり、変更が生じる場合があります。

工事ステップ1（平成28年4月）

- 国道は迂回路[1回目]を供用中です。第1地割の切土造成と第2、第3地割において盛土造成中です。

国道45号迂回路[1回目]

切土造成中

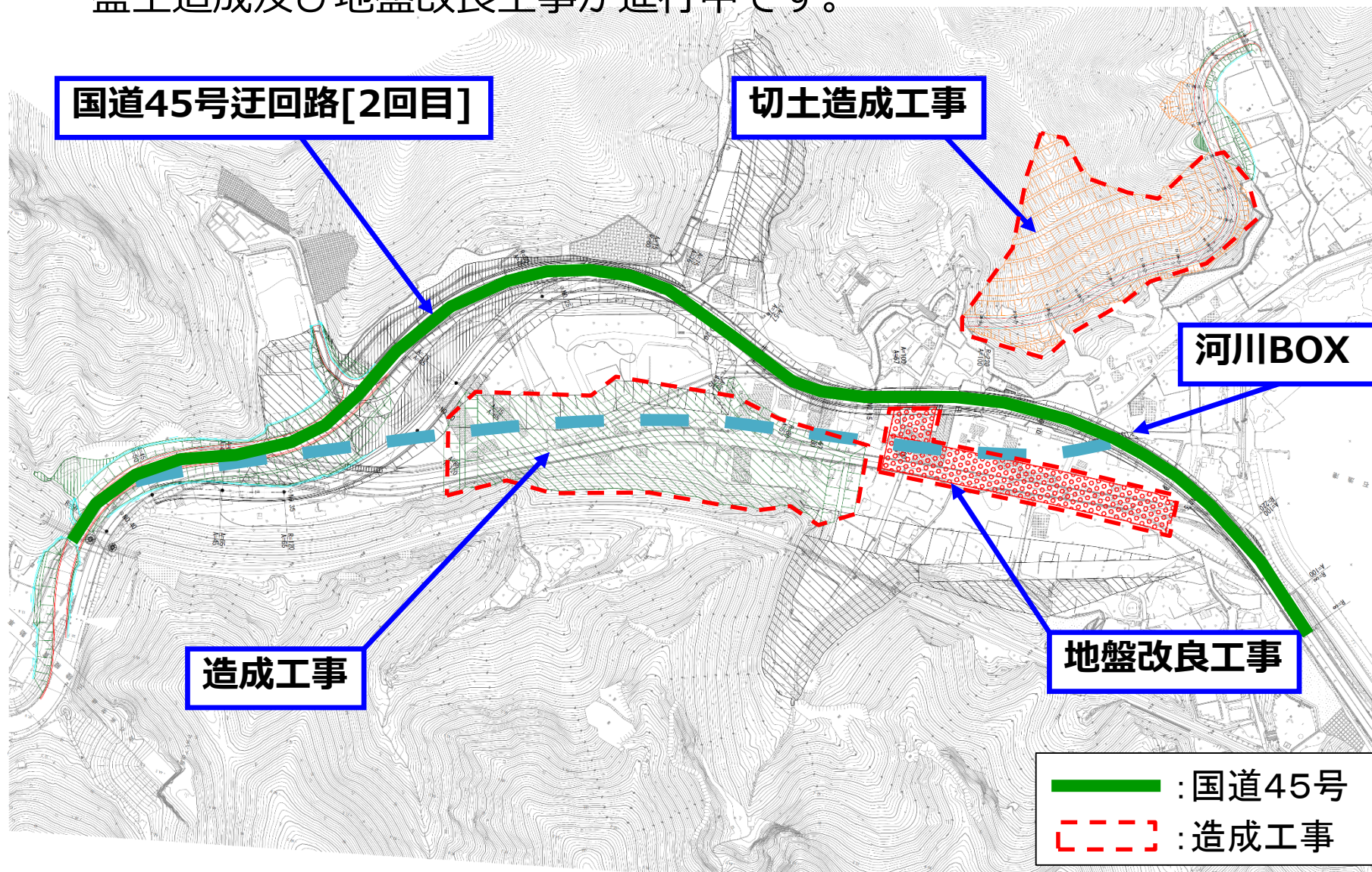
河川BOX

盛土造成中

— : 国道45号
- - - : 造成工事

工事ステップ2（平成28年5月）

- 国道が迂回路[2回目]へと切替り、第1地割の切土造成と国道西側の盛土造成及び地盤改良工事が進行中です。



工事ステップ3（平成29年1月）

- 国道が本線へと切替わり、JR西側の造成工事と迂回路[2回目]部分の盛土造成を行うとともに、桑ノ浜方面への仮設アクセス道路ができます。

国道45号本線

仮設アクセス道路

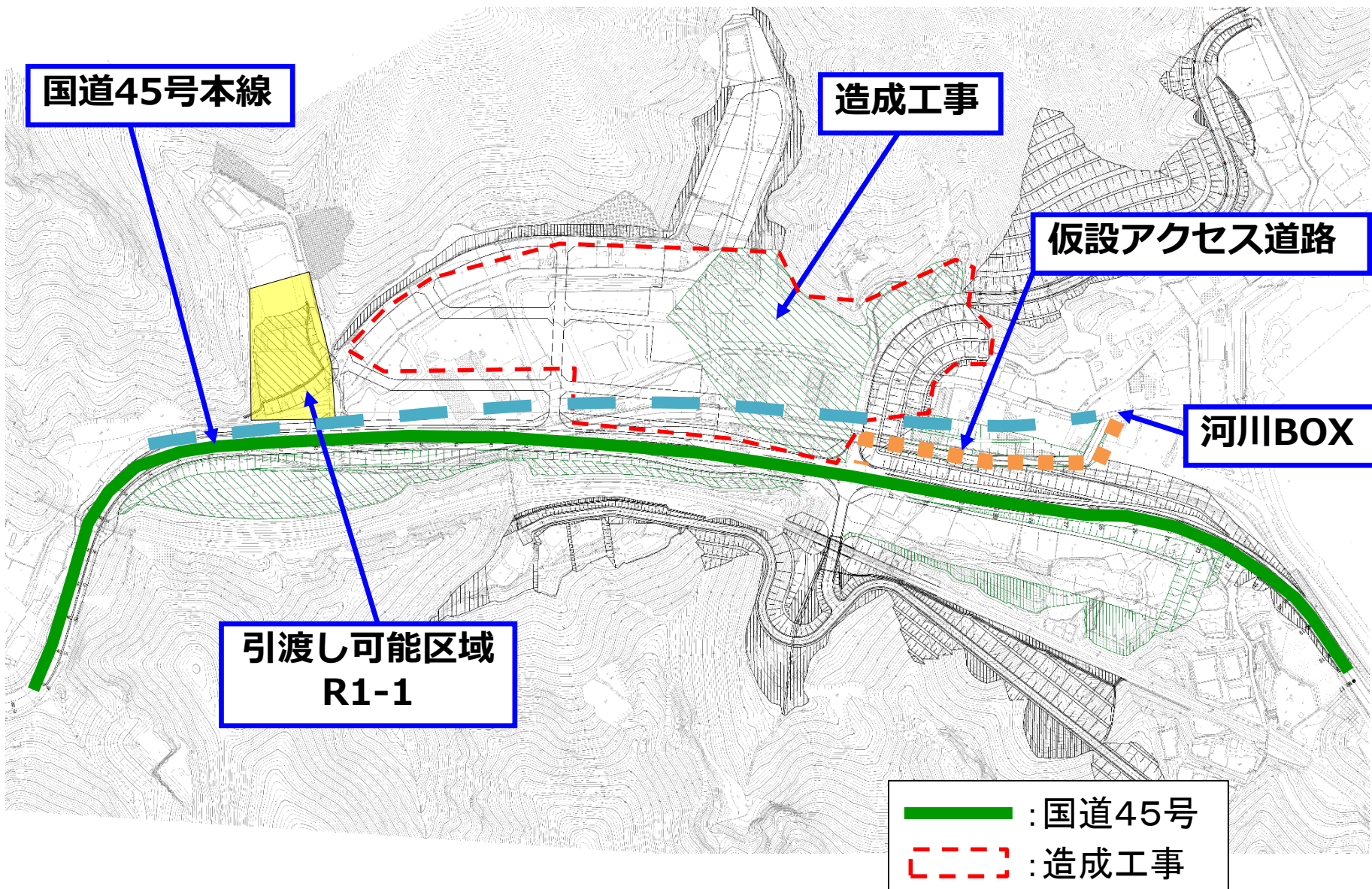
河川BOX

造成工事

— : 国道45号
- - - : 造成工事

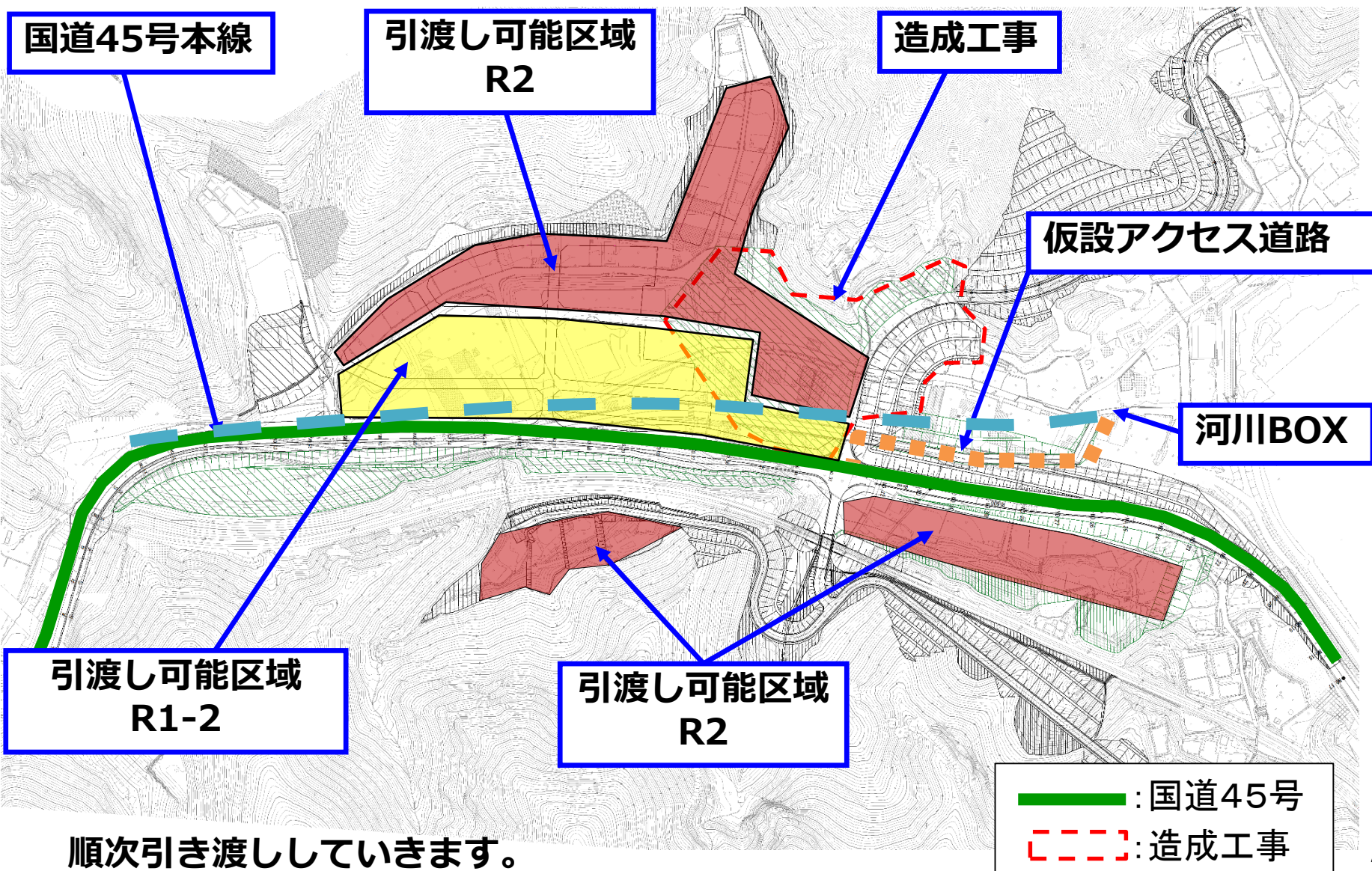
工事ステップ4（平成29年4月）

- 国道の東側が盛土造成中で、復興公営住宅用地（集合住宅）が引き渡し可能となります。





工事ステップ5（平成29年9月～平成30年3月）

- 第2、第3地割の引渡し可能となります。



(両石地区)

  : 諸手続き（測量、境界杭ほか）

30

6. 防潮堤整備の概要について

両石地区の防潮堤整備工事の概要と、工期延伸について説明いたします。

両石漁港海岸 平面図

両石漁港海岸災害復旧(23災県第550号)工事

付替市道(防潮堤乗越道路)

(H30.3完了予定)

両石湾

堤防高

被災前9.3m



復旧高12.0m

アクセス道路

(H28.10完了予定)

1工区 L=160m

(H29.3完了予定)

水門 1基

(H30.3完了予定)

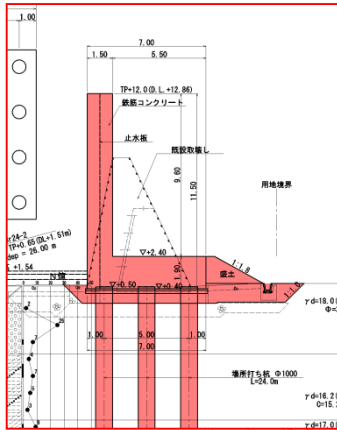
2工区 L=338m

(H30.3完了予定)

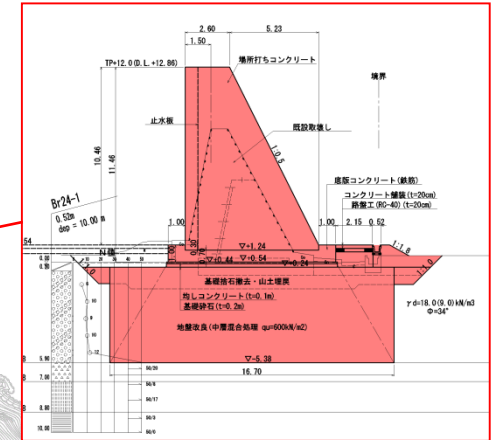
平成 年度
両石漁港
災害復旧 計画附図
31. 防潮堤
全 集のうち 号

※本資料は、今後の詳細検討において変更する場合がある。

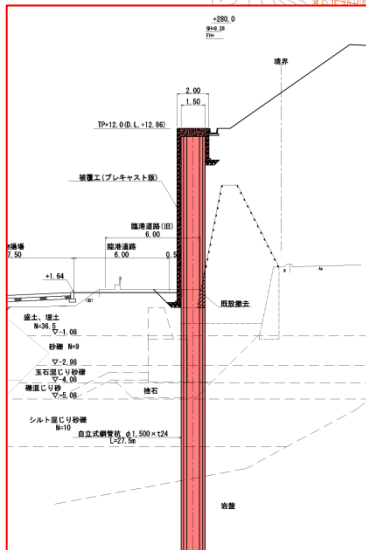
防潮堤 標準断面図



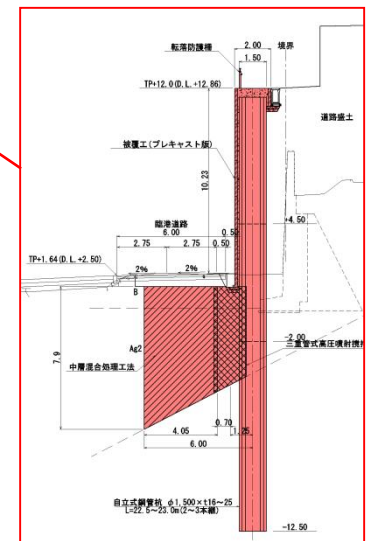
1工区
(コンクリート上部+杭)



1工区取付部
(コンクリート上部+地盤改良)



2工区北側
(鋼管杭圧入)



2工区南側
(鋼管杭圧入+地盤改良)

防潮堤工事の工期延伸について

●杭圧入における岩盤の影響

杭の施工に際して、岩盤の起伏が激しく、岩盤への杭の圧入長が増えるなど、施工に時間を要していることから、工期を延伸することとなりました。



7. 意見交換